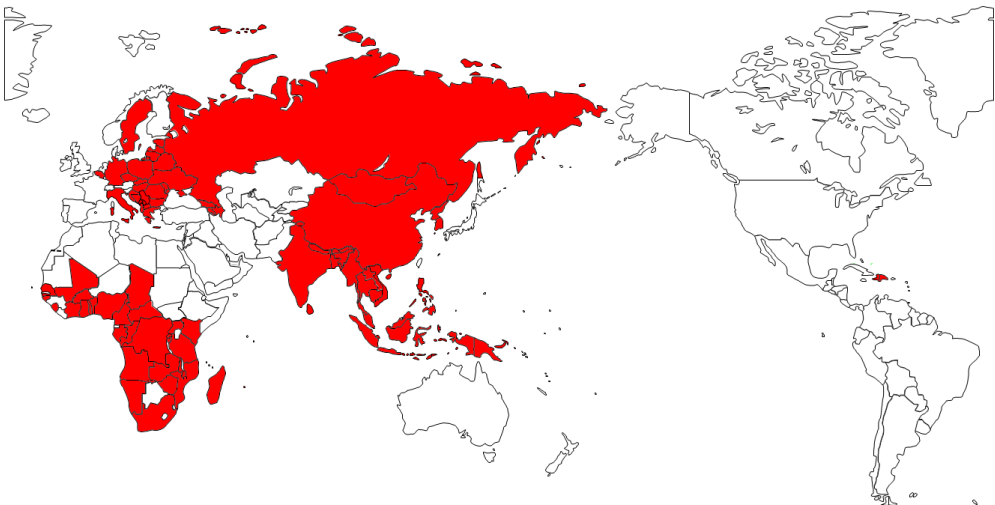


# Ⅲ-1 海外の発生状況 (令和6年12月24日12時時点)

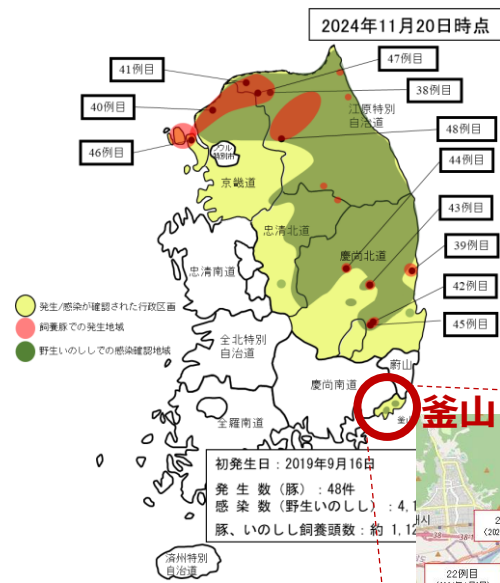
- 2018年8月に中国においてアジア初の発生。その後、韓国、ベトナムを始め、**アジア全域に感染が拡大**。
- 特に**韓国**では、2019年9月の発生確認以来、飼養豚・野生イノシシともに徐々に感染が拡大し、**2023年12月に、釜山広域市の野生イノシシで感染を確認**（直近では野生イノシシ・飼養豚とも、2024年11月に感染確認）。
- 東アジアで**アフリカ豚熱が発生していないのは、日本と台湾のみ**。

## 世界の発生状況



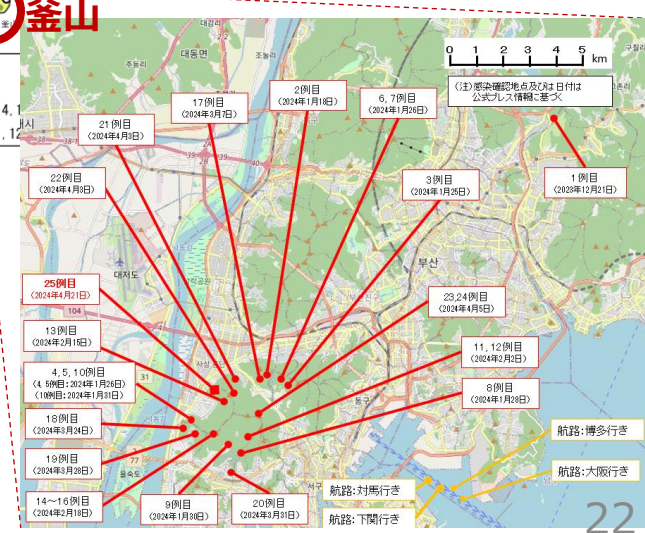
           = 2005年以降WOAH等に発生・感染確認通報のあった国/地域

## 韓国における感染拡大



➤ 2019年9月以降、**48農場**で発生。

➤ 2023年12月以降、**釜山広域市の野生イノシシで感染拡大**。



# Ⅲ-2 我が国への侵入防止・発生予防対策

- 韓国・釜山の感染拡大を受け、国内への侵入防止対策を強化。具体的には、①出国前旅行者や訪日外国人旅行者に対する重点的な情報発信・注意喚起、②韓国からの全ての船舶及び航空機に対する家畜防疫官による口頭質問等の検査実施、③空海港における車両、自転車、ゴルフシューズ等の消毒徹底など、水際対策を強化中。
- 加えて、万が一国内に侵入した際に備え、外国人旅行者の立ち寄り場所などリスクの高い場所を特定した効果的な野生イノシシ侵入防止対策や防疫演習の実施等の準備を実施。

## 水際対策

### ✓ 情報発信、注意喚起の強化



空港等での注意喚起



港湾における消毒啓発 ゴルフ場における消毒啓発



## 国内侵入に備えた準備

### ✓ 防疫演習、関係者に向けた研修会の実施

- 令和6年度では、
  - ・机上演習：23県
  - ・実地演習：16県
  - ・研修会：24県
 実施済み



防疫演習

### ✓ 家畜防疫官による検査、車両・自転車等の消毒

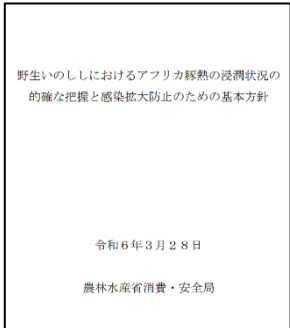


家畜防疫官による検査



港湾における自転車の消毒

### ✓ 野生イノシシ対策



アフリカ豚熱が野生イノシシで確認された際の初動対応について、2024年3月に基本方針を策定

### ✓ 農場対策



アフリカ豚熱啓発ポスター

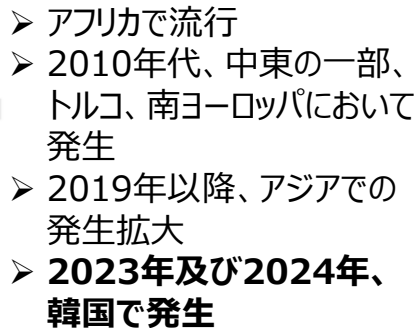
|            |                       |           |
|------------|-----------------------|-----------|
| <b>I</b>   | <b>鳥インフルエンザ</b> ..... | <b>2</b>  |
| <b>II</b>  | <b>豚熱</b> .....       | <b>17</b> |
| <b>III</b> | <b>アフリカ豚熱</b> .....   | <b>22</b> |
| <b>IV</b>  | <b>ランピースキン病</b> ..... | <b>25</b> |

- ## ランピースキン病とは



## 結節（全身性）

- ## 海外の発生状況



## 国内の発生状況

- 25

## Ⅳ－２ 対応状況（令和６年12月24日12時時点）

○ 発症牛からの**生乳の出荷が出来なくなるため、まん延防止対策が重要。発生県と連携し対策に全力を挙げる。**

### 対応状況

- ✓ **防疫対策要領に基づき、以下のとおり対応。**
  - **発症牛の生乳の出荷や発生農場からの生体の移動の自粛、臨床症状を呈する牛の隔離**
  - **周辺農場における異状確認（10km圏内）・害虫防除対策（20km圏内）**
  - **周辺農場の調査及び移動牛の追跡調査の実施**
  - **発症牛の自主淘汰**
- ✓ **ワクチン接種については、福岡県の発生農場周辺20kmの範囲において、11月21日から開始。**  
（熊本県は現時点では接種はしない方針。）

### 輸出への影響

- ✓ **協議の結果、輸出が制限されていた**
  - ・ **香港向け牛肉**
  - ・ **台湾向け乳製品等**
  - ・ **豪州向け牛肉**については、**輸出継続が可能に。**
- ✓ **米国向け牛肉については、**
  - ・ **ワクチン接種牛の産子の輸出停止は解除。**
  - ・ **一方で、ワクチン接種県（福岡県）由来の牛は、対米輸出及び対米輸出施設への搬入には制限。**
  - ・ **制限解除に向けて、米国と調整を継続中。**
- ✓ **カタル向け牛肉については、11月25日から輸出停止中であり、再開に向け協議中。**

## Ⅳ－３ 支援策

○ まん延防止対応、ワクチン接種の推進、農家の経営支援に向けて、きめ細かい支援を実施していく。

### まん延防止対応

- ✓ 発症牛を**自主淘汰**した場合の**再導入**の支援
- ✓ **出荷自粛中**の**生乳**の**適切な処理**への支援
- ✓ **農場の消毒**や**吸血昆虫対策**など、現場でのまん延防止措置への支援
- ✓ 発生農場における**有効な隔離**の指導
- ✓ 発生県と連携した**適切な情報発信**

### ワクチン接種の推進

- ✓ ワクチンの**無償配布**
- ✓ ワクチン接種の影響に関する**リスクコミュニケーション**

### 農家の経営支援

- ✓ 日本政策金融公庫に対し、**農林漁業セーフティネット資金**の円滑な融通や償還猶予を要請済み
- ✓ **日本政策金融公庫支店**に相談窓口を設置
- ✓ 円滑な**生乳の出荷再開**に向けた**検査体制**の整備
- ✓ **子牛の引取先・販路確保**に向けた**関係者間の調整**
- ✓ **飼料関係団体**に対し、**飼料代金の支払猶予**を要請済み